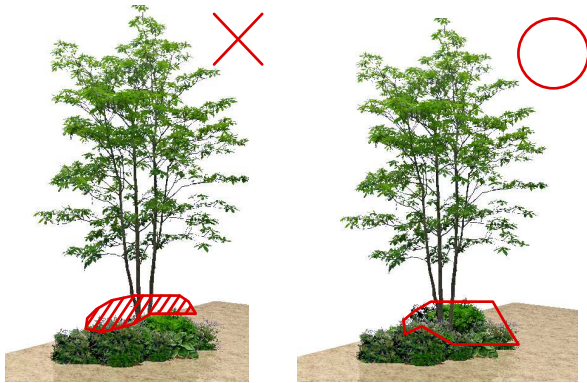


植栽の配置

パースイメージに合わせた植栽を効率的に配置しましょう。



1 高木の廻りに配置する低木について



1-1 高木と低木・草花のセットを作成し、別ファイルに保存しておく便利です。
※07CADの方は07パーツ登録し、リアルタイムパースで配置するとさらに使い勝手が良いです！

1-2 必要な時は、別ファイルを開き高木セットを選択し、ファイル→コピーを選択し、作図中のファイルに、ペーストします。

2 部分パースで大きく映る植栽スペース

(丁寧にイメージに合った植栽を配置)

一番不自然さが目立つのは、植栽の足元になります。土ですと色相の違いでかなり目立ってしまいます。今回デフォルトの地被よりも、自然に見えるようなテクスチャを作成しましたので、植栽を敷き詰めなくても違和感を軽減できるかもしれません。



3 低木の表現方法

1. パースで遠い位置にある植栽スペース
⇒低木類
2. 部分パースで大きく映る植栽スペース（時短編）
⇒低木類2種類+レタッチ



花壇に低木セットを入れる場合、2つほど重ねると連続性を緩和することができます。

1. まずは低木花セット1を適用。ちょっと、スカスカが目立ちます。



2. 次に低木類10を適用し、『シャクナゲ01』のテクスチャーを貼ります。
スカスカ感がなくなって、程よく連続性も緩和されていると思います。



その他：アート樹木用テクスチャ
・アセビ
・トネリコ

3. 最後に軽く足元をレタッチをしてみました。使ったノズルは「バラ葉」です。

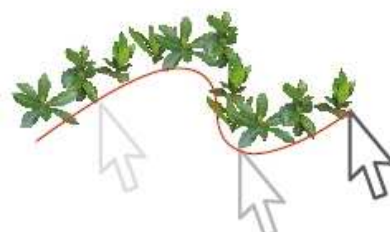


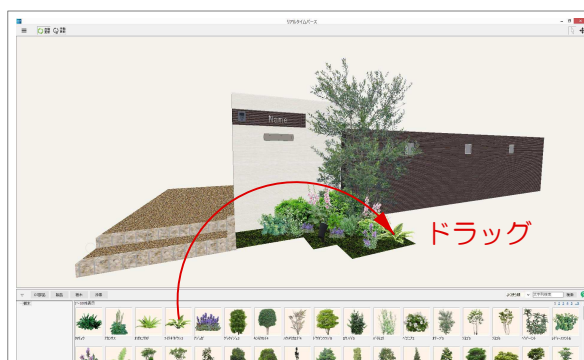
レタッチでは影が落ちないため樹木はなるべく立体で配置しましょう。
CADで配置が難しいものはレタッチで補います。

【レタッチポイント】

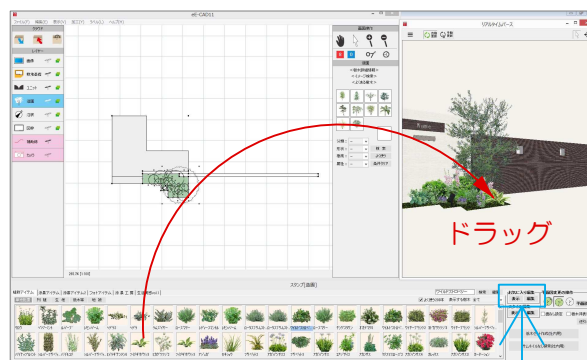
1. 低木を重ねて、クラス設定で入れる。
2. 暗いもの⇒奥の植栽から描く。
3. レタッチの重ね過ぎはかえって立体感が損ないます。
4. ノズルサイズを変えながら描くと個体差がでて自然です。
5. 必ずレタッチ保存する。（アングル変更すると使えません。）
6. 部分パースからレタッチする。

マウスで…
フォト植栽レタッチ





Ver07CAD



Ver11.5・Ver07CAD

【おすすめ低木の例】（すべてのCADバージョン共通）

1. イメージでいれる場合は、色をカラフルにし過ぎないようにまとめる。
2. モダンやエレガントなどイメージを決めてイメージに合う植栽を選択する。
3. 大きなものから配置し、隙間を小さい植栽で埋めていくイメージ。
4. 部分パースをとる場合は、カメラに近いところに形の綺麗な植栽を選ぶ。
5. よく使用する低木は『お気に入り編集』に登録する。



※ 表示する樹木フォト樹木+よく使う200本OFF 50音順 全てのフォト樹木